

(2) 外国語科目の履修方法

目次

1. 外国語科目の履修方法（全学年共通）	56 pp.
1.1. 平成28年度開講科目	
1.2. 必修14単位の履修方法	
2. 英語以外の外国語科目の履修方法／再履修方法	58 pp.
2.1. 英語以外の外国語科目の履修方法	
2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法	
2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法	
2.2. 英語以外の外国語科目の再履修方法	
2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法	
2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法	
2.3. 各語系の履修方法（平成28年度）	64 pp.
・ドイツ語の履修方法	
・フランス語の履修方法	
・中国語の履修方法	
・スペイン語の履修方法	
・ロシア語の履修方法	
・朝鮮語の履修方法	
3. 英語の履修方法	73 pp.

1. 外国語科目の履修方法（全学年共通）

履修にあたっては、前ページの目次を参照のうえ、自分が該当する部分を熟読して履修手続きしてください。

1.1. 平成28年度開講科目

表1：平成28年度開講の外国語Ⅰ

科目名	(単位数、開講学期)	科目名	(単位数、開講学期)
英語	I A (1単位、前期)	中国語	I - 1 (2単位、前期)
英語	I B (1単位、前期)	中国語	I - 2 (2単位、後期)
英語	I C (1単位、後期)	スペイン語	I - 1 (2単位、前期)
英語	I D (1単位、前/後)	スペイン語	I - 2 (2単位、後期)
ドイツ語	I - 1 (2単位、前期)	ロシア語	I - 1 (2単位、前期)
ドイツ語	I - 2 (2単位、後期)	ロシア語	I - 2 (2単位、後期)
フランス語	I - 1 (2単位、前期)	朝鮮語	I - 1 (2単位、前期)
フランス語	I - 2 (2単位、後期)	朝鮮語	I - 2 (2単位、後期)

表2：平成28年度開講の外国語Ⅱ

科目名	(単位数、開講学期)	科目名	(単位数、開講学期)
英語	II A 1 / II B 1 (1単位、前/後)	中国語	II B - 1 (1単位、前期)
英語	II A 2 / II B 2 (1単位、前/後)	中国語	II B - 2 (1単位、後期)
英語	II A 3 (1単位、前/後)	スペイン語	II A - 1 (2単位、前期)
英語	II A 4 (1単位、前/後)	スペイン語	II A - 2 (2単位、後期)
ドイツ語	II A - 1 (2単位、前期)	スペイン語	II B - 1 (1単位、前期)
ドイツ語	II A - 2 (2単位、後期)	スペイン語	II B - 2 (1単位、後期)
ドイツ語	II B - 1 (1単位、前期)	ロシア語	II A - 1 (2単位、前期)
ドイツ語	II B - 2 (1単位、後期)	ロシア語	II A - 2 (2単位、後期)
フランス語	II A - 1 (2単位、前期)	ロシア語	II B - 1 (1単位、前期)
フランス語	II A - 2 (2単位、後期)	ロシア語	II B - 2 (1単位、後期)
フランス語	II B - 1 (1単位、前期)	朝鮮語	II A - 1 (2単位、前期)
フランス語	II B - 2 (1単位、後期)	朝鮮語	II A - 2 (2単位、後期)
中国語	II A - 1 (2単位、前期)	朝鮮語	II B - 1 (1単位、前期)
中国語	II A - 2 (2単位、後期)	朝鮮語	II B - 2 (1単位、後期)

1.2. 必修14単位の履修方法

- 1) 卒業に必要な外国語科目の必修単位は14単位です。
- 2) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語のうちからふたつの言語を選択し、それぞれについて外国語Ⅰと外国語Ⅱを履修します。
- 3) 外国語科目の必修14単位の内訳は次のとおりです。
 - ① 外国語Ⅰは、ひとつの言語につき4単位、ふたつの言語で計8単位が必修。
 - ② 外国語Ⅱは、外国語Ⅰで選択した2言語のうち、一方をAコース(ⅡA)として4単位、他方をBコース(ⅡB)として2単位、計6単位が必修。
- 4) 例えば、外国語Ⅰで英語とドイツ語を選択し、外国語Ⅱで英語をAコース、ドイツ語をBコースとして履修した場合、次の表のようになります。

表3：外国語選択の例

	英語	ドイツ語	計
外国語Ⅰ	4単位	4単位	8単位
外国語Ⅱ	4単位 (ⅡA)	2単位 (ⅡB)	6単位
計	8単位	6単位	14単位

- 5) 外国語科目として英語を選択せず、例えばドイツ語とフランス語を履修することもできます。詳細については、言語センターまたは履修指導教員にお尋ねください。
- 6) 表1および表2の外国語科目の単位数は、以下に定められた授業回数(および予習・復習時間数)より算定されています
 - ① 半期1単位科目については、週1回、半期15週、計15回の授業
 - ② 半期2単位科目については、週2回、半期15週、計30回の授業
- 7) 各科目の単位認定にあたっては、原則として、上記に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により合格・不合格の判定が行われます。なお、「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。
- 8) 英語以外の外国語科目では、外国語Ⅰの単位が未修得のまま、外国語Ⅱを同時履修することは認められません。ただし、卒年次生に限り外国語Ⅰと外国語Ⅱの同時履修を認めますが、単位認定の基準等について特別な扱いはありません。
実際問題として、ⅠとⅡの同時履修は相当に困難であり、また、成績評価にあたっては個人的事情は一切考慮いたしませんので注意してください。

2. 英語以外の外国語科目の履修方法／再履修方法

2.1. 英語以外の外国語科目の履修方法

2.1.1. 英語以外の外国語 I の履修方法

ア) 履修言語の決定

英語以外の外国語は、入学手続の際に配布する冊子『外国語への招待』にしたがって、本学ホームページより履修志望登録を行います。これをもとに抽選にて履修言語を決定し、初回授業の前に掲示等にて発表します。

イ) 開講学期

上の「表1：平成28年度開講の外国語 I」のうち、外国語 I - 1 は前期科目、外国語 I - 2 は後期科目であり、それぞれ週2回、半期15週、計30回の授業が開講されます。

ウ) クラス編成

I - 1、I - 2 に複数のクラスがある場合、クラス名はアルファベット小文字で表記します。その場合、履修者は、前期、後期とも同一のクラスを履修することとします（例えば、前期が I - 1 a なら、後期は I - 2 a）。なお、クラス所属については、履修言語の決定とともに掲示等にて発表します。

エ) 履修資格

後期の外国語 I - 2 を履修するためには、前期の外国語 I - 1 の2単位を修得しておかなければなりません。（下のフローチャート参照）

オ) 単位認定

I - 1、I - 2 とも半期2単位科目です。原則として、上記イ) に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により成績評価が行われ、合格または不合格の単位認定が行われます。なお、火曜日と木曜日で担当者が異なる場合も、一括して半期2単位が認定されます。

カ) 定期試験の受験資格

履修方法等に関する規則11条により、単位認定に関わる定期試験を受験するためには、原則として、授業回数の少なくとも2/3以上の出席が必要です。ただし、外国語の学習では、教室での実習が中心となりますので、度重なる欠席は好ましくありません。

キ) 合格および成績評価の基準

外国語 I の合格基準および「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。

ク) 学外の検定試験等による単位認定

学外の検定試験等で一定以上の成績を修めて申請すると、本学の外国語 I の単位が認定されます。詳細については、「IV-6 大学以外の教育施設等における学修の単位認定」を参照してください。

ケ) 選択言語の変更

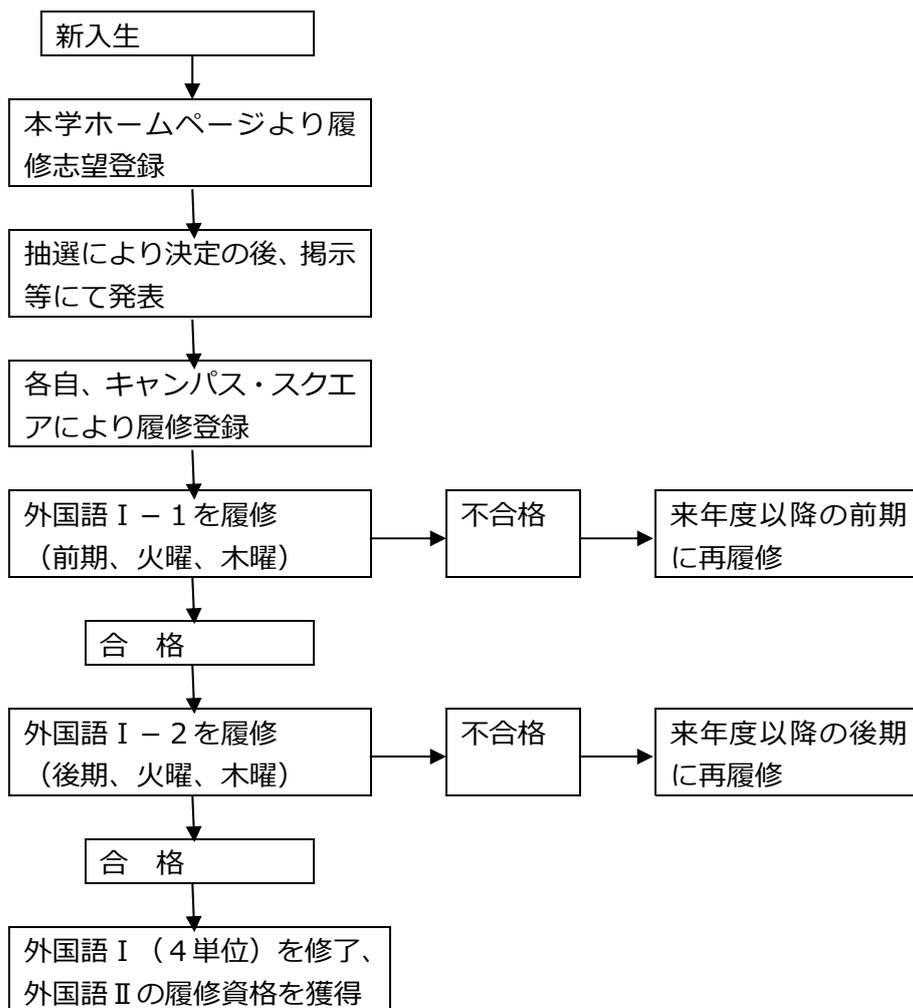
前年度以前に選択していた外国語を他の言語に変更する場合、次の扱いとなります。

- ① 外国語 I の2言語8単位に不足がある場合、新入生と同じく抽選の対象となります。具体的な手続きについては、下記のナ) を参照のこと。
- ② 外国語 I の2言語8単位を修得済みの場合、希望どおりの変更が認められます。変更を希望する者は、その旨を変更前の言語の担当教員、新たに履修する言語の担当教員、および学部教務係に申し出ること。

コ) 第三外国語の履修

外国語 I の2言語8単位を修得済みの場合、新たにもうひとつの外国語 I を第三外国語として履修することができます。ただし、第三外国語の単位は、外国語科目ではなく、自由選択科目に算入されます。詳細については、言語センターまたは履修指導教員にお尋ねください。

サ) 外国語 I の履修のフローチャート



2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法

シ) 開講科目と開講学期

本年度開講される外国語Ⅱの科目および開講学期は、上の「表2」のとおりです。

ス) コース選択と所属クラスの決定

外国語Ⅱは、AコースまたはBコースのいずれかを選択して履修します。Aコースは前期のⅡA-1および後期のⅡA-2からなり、Bコースは前期のⅡB-1および後期のⅡB-2からなります。

同一のコースに複数のクラスがある場合、クラス名はアルファベット小文字で表記します。その場合、履修者は、前期、後期とも同一のクラスを履修することとします（例えば、前期がⅡA-1aなら、後期はⅡA-2a）。

なお、コース選択および所属クラスの決定については、シラバスその他、各語系の指示に従うこと。

セ) 単位数とコース修了

ⅡA-1およびⅡA-2は、それぞれ週2回、15週、計30回の2単位科目であり、両科目の計4単位の修得をもってAコースの修了となります。

ⅡB-1およびⅡB-2は、それぞれ週1回、15週、計15回の1単位科目であり、両科目の計2単位の修得をもってBコースの修了となります。

ソ) 履修資格

外国語Ⅱを履修するためには、外国語Ⅰの4単位の修得しておかなければなりません。また、ⅡA-2の履修はⅡA-1の2単位の、ⅡB-2の履修はⅡB-1の1単位の修得を前提とします。

タ) 単位認定

単位の認定にあたっては、原則として、上記セ)に定める授業への出席回数を満たしたうえで、定期試験等により成績評価が行われ、合格または不合格が判定されます。なお、Aコースの場合、火曜日と木曜日で担当者が異なる場合も、一括して半期2単位が認定されます。

チ) 定期試験の受験資格

履修方法等に関する規則11条の2により、単位認定に関わる定期試験を受験するためには、原則として、授業回数の少なくとも2/3以上の出席が必要です。ただし、外国語の学習では、教室での実習が中心となりますので、度重なる欠席は好ましくありません。

ツ) 合格および成績評価の基準

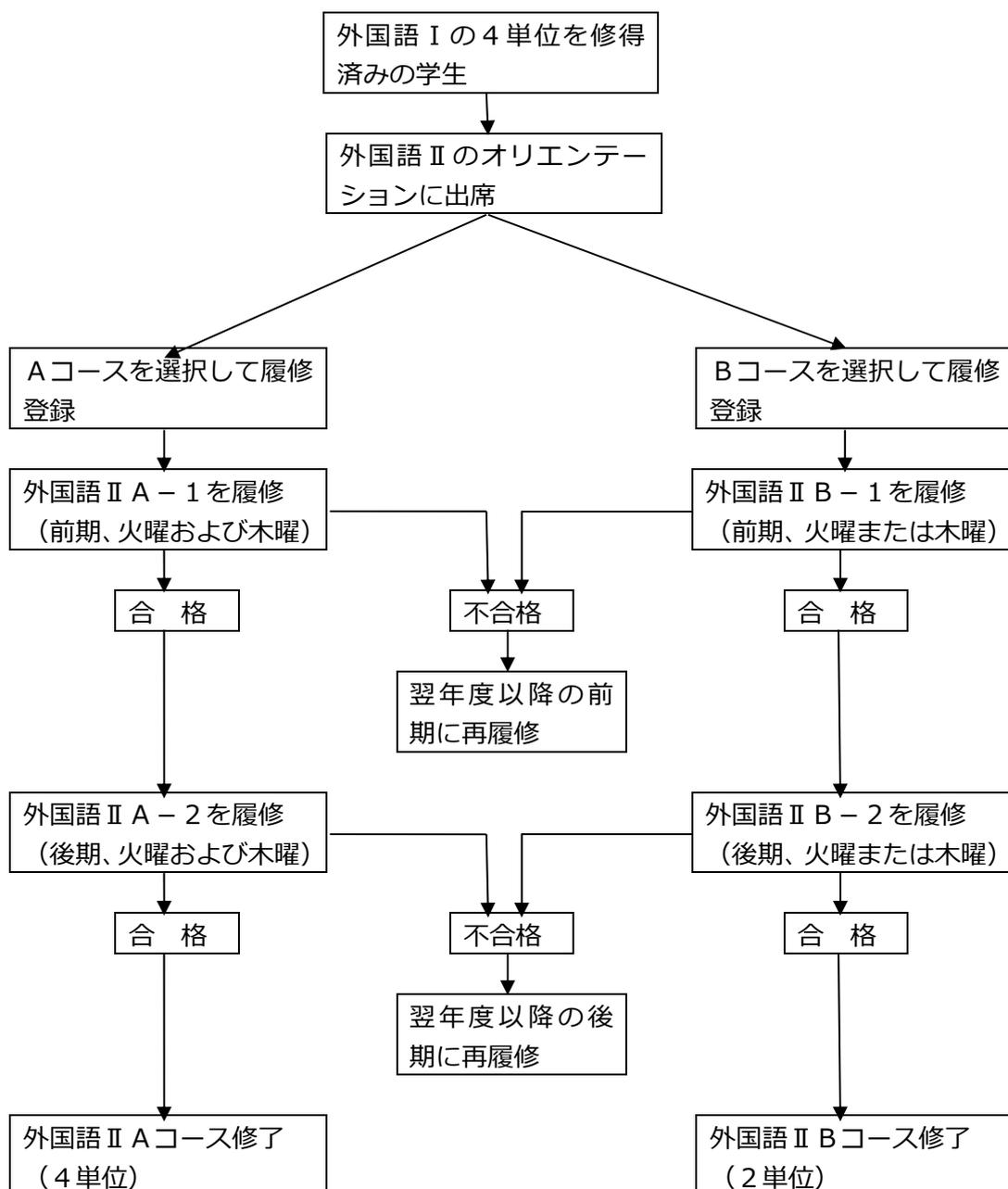
外国語Ⅱの合格基準および「秀、優、良、可」の評価基準については、各語系および各教員のシラバスを参照してください。

テ) 選択コースの変更

前年度以前に選択していたA/Bコースを変更しようとする場合は、次の扱いとなります。

- ① 既習のコースにおいて修得した単位は、外国語科目には算入されない。例えば、ドイツ語ⅡをBコースからAコースに変更する場合、ドイツ語ⅡBの2単位の修得していたとしても、新たにドイツ語ⅡAの4単位の修得しなければならない。なお、ドイツ語ⅡBで修得した2単位は、自由選択科目に算入される。
- ② コースを変更する場合、他の外国語Ⅱについても、コース変更しなければならない。例えばドイツ語ⅡをBコースからAコースに変更した場合、もう一方の外国語Ⅱも、AコースからBコースに変更しなければならない。その際の単位の取り扱いは、上の①に準ずる。

ト) 外国語Ⅱの履修のフローチャート



2.2. 英語以外の外国語の再履修方法

2.2.1. 英語以外の外国語 I の再履修方法

ナ) 全学年共通

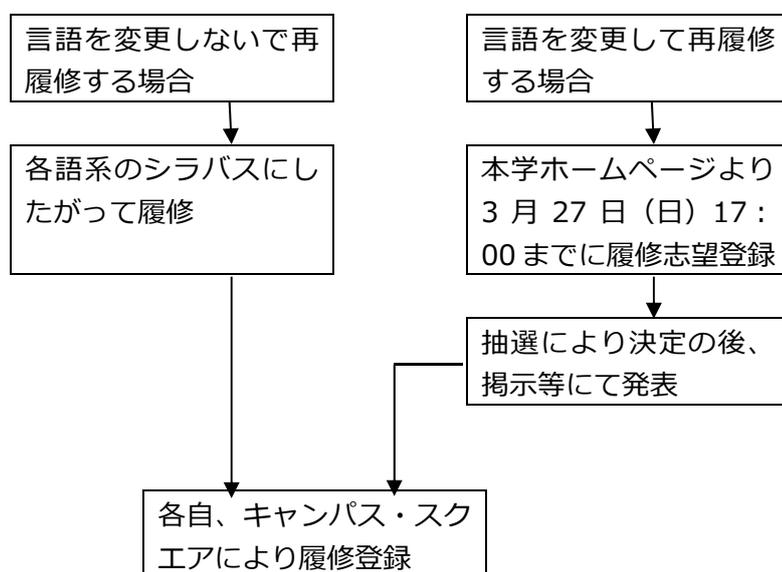
- 1) 外国語 I の再履修において、選択する言語を変更しようとする場合、新入生と同じ抽選の対象となります。変更希望者は、本学ホームページより3月27日（日）17：00（厳守）まで履修志望登録を行ってください。また、変更が認められた場合、その旨を担当教員および学部教務係に届け出ること。
- 2) 外国語 I の再履修において、選択する言語を変更しない場合は、上記1) の履修志望登録を行う必要はありません。クラスの所属等については、各語系の指示に従ってください。

二) 平成24年度以前の入学生(移行措置)

平成25年度から外国語 I に半期制が導入されたことを受け、以下の移行措置に注意してください。

- 1) 半期制導入後の I - 1（前期）および I - 2（後期）を履修すること（表1参照）。
- 2) 後期の I - 2 を履修するためには、前期で I - 1 の2単位を履修済みでなければならない。
- 3) 履修言語の変更については、上記のナ) を参照のこと。
- 4) その他、履修方法の詳細については、上記のア) ～サ) を参照のこと。

又) 外国語 I の再履修のフローチャート



2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法

ネ) 半期制への移行措置（平成24年度以前の学生）

平成26年度から外国語Ⅱに半期制が導入されたことを受け、以下の移行措置に注意してください。

- 1) A/Bコース選択はこれまでどおり維持される。
- 2) 従来 of 通年制におけるⅡAは、ⅡA-1（前期）およびⅡA-2（後期）に分割され、それぞれ別個に単位認定される。（表2参照）
- 3) 従来 of 通年制におけるⅡBは、ⅡB-1（前期）およびⅡB-2（後期）に分割され、それぞれ別個に単位認定される。（表2参照）
- 4) 外国語Ⅱは、外国語Ⅰの4単位（半期制にあつては、Ⅰ-1の2単位、およびⅠ-2の2単位、計4単位）を修得済みでなければ履修できない。
- 5) 前期 of ⅡA-1の2単位ないしⅡB-1の1単位を修得済みでなければ、後期 of ⅡA-2ないしⅡB-2は履修できない。
- 6) その他、履修方法の詳細については、上記シ)～ト)を参照のこと

ノ) 外国語Ⅱの再履修のフローチャート

上記 of ト)を参照のこと。

2.3.各語系の履修方法（平成28年度）

ドイツ語の履修方法

平成28年度開講科目

表1：ドイツ語Ⅰ

	前期	後期
火	ドイツ語Ⅰ-1a 北原(寛)	ドイツ語Ⅰ-2a 北原(寛)
	ドイツ語Ⅰ-1b 杉浦	ドイツ語Ⅰ-2b 杉浦
	ドイツ語Ⅰ-1c 鈴木(将)	ドイツ語Ⅰ-2c 鈴木(将)
木	ドイツ語Ⅰ-1a 副島	ドイツ語Ⅰ-2a 副島
	ドイツ語Ⅰ-1b 佐藤(和)	ドイツ語Ⅰ-2b 佐藤(和)
	ドイツ語Ⅰ-1c 梅津	ドイツ語Ⅰ-2c 梅津

表2：ドイツ語Ⅱ

	前期	後期
火	ドイツ語ⅡA-1a 北原(寛)	ドイツ語ⅡA-2a 北原(寛)
	ドイツ語ⅡA-1b 鈴木(将)	ドイツ語ⅡA-2b 鈴木(将)
	ドイツ語ⅡB-1a 副島	ドイツ語ⅡB-2a 副島
	ドイツ語ⅡB-1c 杉浦	ドイツ語ⅡB-2c 杉浦
木	ドイツ語ⅡA-1a 副島	ドイツ語ⅡA-2a 副島
	ドイツ語ⅡA-1b 梅津	ドイツ語ⅡA-2b 梅津
	ドイツ語ⅡB-1b 佐藤(和)	ドイツ語ⅡB-2b 佐藤(和)

ドイツ語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

a) クラス編成

Ⅰ-1、Ⅰ-2とも3クラス編成（a、b、c）である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に掲示等により発表する。

b) 合格および成績評価の基準

ドイツ語Ⅰはドイツ語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

ドイツ語の基礎的な文法・基本語彙を習得していること。

平易な文章を読み書きできること。

平易な発話を聞き取り、話せること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

1) 再履修者のクラス所属については、前年度のクラス所属にかかわらずクラスを選択してよい（クラス定員管理のため制限を加えることもある）。

2) 他言語からの変更を認められた者のクラス所属も上記1) に準ずる。

d) 半期制への移行措置（平成24年度以前入学生）平成24年度以前入学生がドイツ語Ⅰを（再）履修する場合、半期制導入後のⅠ-1（前期）およびⅠ-2（後期）を履修すること。その場合、クラス所属については上記c) に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

ドイツ語Ⅱの履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定（再履修者を含む）

- 1) ドイツ語ⅡAは、半期週2回の授業に前後期出席し前後期2単位ずつ計4単位を修得しようとする者のコースである。ドイツ語ⅡBは、半期週1回の授業に前後期出席し前後期1単位ずつ計2単位を修得しようとする者のコースである。
- 2) 履修者は、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。
- 3) 履修希望者は、4月初回のオリエンテーションに参加し、履修コースと所属クラスを決定し、次回から正式に出席すること。また、オリエンテーションを欠席した場合、希望のコース、クラスを履修できない可能性があるため、必ず出席すること。

f) 合格および成績評価の基準

ドイツ語Ⅱは中級程度のドイツ語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置（平成24年度以前入学生）

平成24年度以前入学者がドイツ語Ⅱを（再）履修する場合、半期制導入後のⅡA-1 / ⅡA-2 またはⅡB-1 / ⅡB-2 を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記e) に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

フランス語の履修方法

平成28年度開講科目

表1：フランス語Ⅰ

	前期		後期	
火	フランス語Ⅰ-1a	尾形	フランス語Ⅰ-2a	尾形
	フランス語Ⅰ-1b	小澤	フランス語Ⅰ-2b	小澤
	フランス語Ⅰ-1c	村山	フランス語Ⅰ-2c	村山
	フランス語Ⅰ-1d	ヤウヤウイ	フランス語Ⅰ-2d	ヤウヤウイ
木	フランス語Ⅰ-1a	デュボワ	フランス語Ⅰ-2a	デュボワ
	フランス語Ⅰ-1b	江口	フランス語Ⅰ-2b	江口
	フランス語Ⅰ-1c	尾形	フランス語Ⅰ-2c	尾形
	フランス語Ⅰ-1d	高橋	フランス語Ⅰ-2d	高橋

表2：フランス語Ⅱ

	前期		後期	
火	フランス語ⅡA-1a	尾形	フランス語ⅡA-2a	尾形
	フランス語ⅡA-1b	ヤウヤウイ	フランス語ⅡA-2b	ヤウヤウイ
	フランス語ⅡA-1c	小澤	フランス語ⅡA-2c	小澤
	フランス語ⅡB-1a	村山	フランス語ⅡB-2a	村山
木	フランス語ⅡA-1a	デュボワ	フランス語ⅡA-2a	デュボワ
	フランス語ⅡA-1b	高橋	フランス語ⅡA-2b	高橋
	フランス語ⅡA-1c	江口	フランス語ⅡA-2c	江口
	フランス語ⅡB-1b	尾形	フランス語ⅡB-2b	尾形

フランス語Ⅰの履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」に加え、次に注意してください。

a) クラス編成

I-1、I-2とも4クラス編成(a、b、c、d)である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、クラス所属は学生番号により均等割りとし、初回授業より前に掲示等により発表する。

b) 合格および成績評価の基準

フランス語Ⅰはフランス語Ⅱの履修に必要な基礎の修得をもって合格とする。

- ①発音の規則を身につけ、基本的な発話、聞き取りができること。
- ②基本文法を理解し、辞書を用いて平易な文章の読み書きができること。
- ③特に動詞の活用および時制については習熟すること。

なお、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者のクラス所属

- 1) 再履修者のクラス所属については、前年度のクラス所属にかかわらずクラスを選択してよい(クラス定員管理のため制限を加えることもある)。
- 2) 他言語からの変更を認められた者のクラス所属も上記1)に準ずる。

d) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学生がフランス語 I を（再）履修する場合、半期制導入後の I - 1（前期）および I - 2（後期）を履修すること。その場合、クラス所属については上記 c）に準ずるが、前期、後期とも同一クラスを履修すること。

フランス語 II の履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語 II の履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語 II の再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定（再履修者を含む）

履修コースおよび所属クラスの決定は、4 月の最初の授業で行われる合同オリエンテーション（その年に開講されるすべての授業の紹介）で行われる。定員を超えた場合、抽選で決定する場合もあるので、必ず出席すること。オリエンテーションを欠席した者は、希望のコース、クラスを履修できない可能性がある。

f) 合格および成績評価の基準

フランス語 II は中級程度のフランス語の修得をもって合格とし、「秀、優、良、可」の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し別途指示する。

g) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学者がフランス語 II を（再）履修する場合、半期制導入後の II A - 1 / II A - 2 または II B - 1 / II B - 2 を履修すること。その場合、コースの選択およびクラス所属については上記 e）に準ずるが、前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。

中国語の履修方法

平成28年度開講科目

中国語 I

	前期	後期
火	中国語 I - 1a 裴	中国語 I - 2a 裴
	中国語 I - 1b 谷内	中国語 I - 2b 谷内
	中国語 I - 1c 霜鳥	中国語 I - 2c 霜鳥
	中国語 I - 1d 嘉瀬	中国語 I - 2d 嘉瀬
木	中国語 I - 1a 嘉瀬	中国語 I - 2a 嘉瀬
	中国語 I - 1b 裴	中国語 I - 2b 裴
	中国語 I - 1c 楊	中国語 I - 2c 楊
	中国語 I - 1d 高	中国語 I - 2d 高

中国語 II

	前期	後期
火	中国語 II A - 1a 裴	中国語 II A - 2a 裴
	中国語 II A - 1b 谷内	中国語 II A - 2b 谷内
	中国語 II A - 1c 霜鳥	中国語 II A - 2c 霜鳥
	中国語 II A - 1d 嘉瀬	中国語 II A - 2d 嘉瀬
	中国語 II B - 1a 胡	中国語 II B - 2a 胡
木	中国語 II A - 1a 嘉瀬	中国語 II A - 2a 嘉瀬
	中国語 II A - 1b 裴	中国語 II A - 2b 裴
	中国語 II A - 1c 楊	中国語 II A - 2c 楊
	中国語 II A - 1d 高	中国語 II A - 2d 高
	中国語 II B - 1b 加藤(眞)	中国語 II B - 2b 加藤(眞)

中国語 I の履修方法

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語 I の履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語 I の再履修方法」に加え、次の点に注意してください。

a) クラス編成

I - 1、I - 2 とともに4クラス編成 (a、b、c、d) である。履修者は前期、後期とも同一のクラスを履修すること。なお、所属クラスは学生番号により均等に割り振り、初回授業より前に掲示等により発表する。

b) 合格および成績評価の基準

中国語 I は、中国語 II の履修に必要な能力が習得されていることをもって合格とする。可否の基準は、中国語の基礎および初級の文法・語彙に習熟し、四技能(聞く・話す・読む・書く)を習得しているか否かによる。なお、成績評価の基準については、各教員が別途指示する。

c) 再履修者の所属クラス

- 1) 再履修者の所属クラスについては、前年度の所属クラスにかかわらずクラスを選択してよい(クラスの定員管理のために制限を加えることもある)。ただし、前期、後期とも同一クラスを履修すること。
- 2) 他言語からの変更を認められた者の所属クラスも上記1) に準ずる。

d) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学生が中国語 I を（再）履修する場合、半期制導入後の I - 1（前期）および I - 2（後期）を履修すること。その場合、所属クラスについては上記 c) に準ずる。

中国語 II の履修方法

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語 II の履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語 II の再履修方法」に加え、次に注意してください。

e) 履修コースと所属クラスの決定（再履修者を含む）

中国語 II の履修を希望する者は、4月の授業第 1 週（7日・12日）に行われるオリエンテーションに参加し、そこで配布される「中国語 II 履修希望調査票」に履修を希望するクラスを第 5 希望まで記入の上、4月 12日 13時までに中国語の教員に提出すること。この調査票に基づいて抽選を行ない所属クラスを決定し、掲示にて発表する。前期、後期とも同一コース、同一クラスを履修すること。なお、調査票の未提出者は、希望クラスでの履修が認められないことがある。

f) 合格および成績評価の基準

中国語 II は、中級程度の中国語能力の習得をもって合格とする。成績評価の基準については、各教員が授業の目的および内容に沿って設定し、別途指示する。

g) 半期制への移行措置（平成 24 年度以前入学生）

平成 24 年度以前入学者が中国語 II を（再）履修する場合、半期制導入後の II A - 1 / II A - 2 または II B - 1 / II B - 2 を履修すること。その場合、コースの選択および所属クラスについては上記 e) に準ずる。

スペイン語の履修方法

平成28年度開講科目

表1：スペイン語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 パイチャゼ	I-2 パイチャゼ
木	I-1 パイチャゼ	I-2 パイチャゼ

表2：スペイン語Ⅱ

	前期	後期
火	ⅡA-1 パイチャゼ	ⅡA-2 パイチャゼ
木	ⅡA-1 パイチャゼ ⅡB-1 パイチャゼ	ⅡA-2 パイチャゼ ⅡB-2 パイチャゼ

1. スペイン語Ⅰの履修方法

スペイン語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のスペイン語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. スペイン語Ⅱの履修方法

スペイン語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。なお、本年度は、木曜日2講のスペイン語ⅡAとⅡBは合併授業になります。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：木で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のスペイン語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のスペイン語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

ロシア語の履修方法

平成28年度開講科目

表1：ロシア語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 スペヴァコフスキー	I-2 スペヴァコフスキー
木	I-1 山田	I-2 山田

表2：ロシア語Ⅱ

	前期	後期
火	II A-1 スペヴァコフスキー II B-1 山田	II A-2 スペヴァコフスキー II B-2 山田
木	II A-1 山田	II A-2 山田

1. ロシア語Ⅰの履修方法

ロシア語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目のロシア語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. ロシア語Ⅱの履修方法

ロシア語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスだけ開講します。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：火で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目のロシア語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目のロシア語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。

朝鮮語の履修方法

平成28年度開講科目

表1：朝鮮語Ⅰ

	前期	後期
火	I-1 李賢峻	I-2 李賢峻
木	I-1 韓然善	I-2 韓然善

表2：朝鮮語Ⅱ

	前期	後期
火	ⅡA-1 李賢峻	ⅡA-2 李賢峻
木	ⅡA-1 韓然善 ⅡB-1 李賢峻	ⅡA-2 韓然善 ⅡB-2 李賢峻

1. 朝鮮語Ⅰの履修方法

朝鮮語Ⅰ-1、Ⅰ-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.1. 英語以外の外国語Ⅰの履修方法」および「2.2.1. 英語以外の外国語Ⅰの再履修方法」をよく読んでください。

前期科目の朝鮮語Ⅰ-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語Ⅰ-2を履修できないので、注意してください。

2. 朝鮮語Ⅱの履修方法

朝鮮語ⅡA-1、ⅡA-2、ⅡB-1、ⅡB-2はそれぞれ1クラスずつ開講しています。

本手引きの「2.1.2. 英語以外の外国語Ⅱの履修方法」および「2.2.2. 英語以外の外国語Ⅱの再履修方法」をよく読んでください。

履修者はAコース（ⅡA-1およびⅡA-2：火、木の週2回）またはBコース（ⅡB-1およびⅡB-2：火で週1回）のいずれかを選択してください。

前期科目の朝鮮語ⅡA-1あるいはⅡB-1の単位を取得しないと、後期科目の朝鮮語ⅡA-2あるいはⅡB-2を履修できないので、注意してください。